

【担当教員名】 三村宣治	対象学年	2 3	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

医療福祉機器とは何か？それを支える学問（生体工学と支援工学）とはどのようなものか？本講義では、主に支援工学の学問体系の中での位置付けについて学習し、福祉機器を取り扱うために必要な基礎知識を身に付ける。支援工学は学際領域における学問であり、数学、情報学、機械工学、電子工学、心理学等の基礎知識を学習する。

<学習目標>

1. 医療福祉機器の背景を理解し、自分達の役割を認識する。
2. 医療福祉工学の基礎学術知識を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	福祉技術の役割と課題	障害者・高齢者に対する支援の基本的な考え方と福祉技術の変遷と現状および今後の課題について学ぶ	講義	三村宣治
2			講義	三村宣治
3	移動・運動機能に関する機器	車いすや福祉車両など移動・運動機能を補助する機器に関する工学技術を学ぶ。	講義	三村宣治
4			講義	三村宣治
5	感覚機能に関する機器	聴覚障害者や視覚障害者などの感覚機能を補助するする機器に関する工学技術について学ぶ。	講義	三村宣治
6			講義	三村宣治
7	生活環境に関連する機器・技術	介護ベッドなど身の回りの環境を操作する機器に関する工学技術について学ぶ。	講義	三村宣治
8			講義	三村宣治
9	バリアフリーを実現する機器・技術	誰にでも使いやすい製品（共用品）を設計する際に必要となる工学技術について学ぶ。	講義	三村宣治
10			講義	三村宣治
11	ネットワークを利用した福祉機器	ネットワークを利用した遠隔医療・福祉技術と障害者・高齢者の新しい情報獲得・発信手段としてのWebを学ぶ。	講義	三村宣治
12			講義	三村宣治
13	福祉用具産業の規模と将来展望	福祉機器産業全体の現在および将来の市場規模と、安全性確保のための評価基盤の整備について学ぶ。	講義	三村宣治
14			講義	三村宣治
15	定期試験	定期試験を行い、目標達成度を評価する。	試験	三村宣治

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特になし			
参考書	電子情報支援技術を学ぶ 財団法人ニューメディア開発協会 バリアフリーのための福祉技術入門、オーム社、足立芳寛監修、後藤芳一編著			
その他の資料	必要なときはプリントを使用する。			

【評価方法】 レポート・出席状況から総合的に評価する。 定期試験を実施する。	【履修上の留意点】 医療福祉機器分野の基本的な講義である。
--	----------------------------------